

感染性胃腸炎発生による新規入院の停止について

令和3年2月17日
京都府立医科大学
附属北部医療センター

京都府立医科大学附属北部医療センターでの感染性胃腸炎（ノロウイルス）の発生に伴う新規入院停止についてお知らせします。

2月1日（月）から2月15日（月）までに3病棟計11名の入院患者が胃腸炎症状を発症。全員が検査の結果ノロウイルス陽性、入院期間が長い患者も含まれていたため院内感染が発生していると判断し、隔離、消毒、リハビリテーション実施方法の見直し等の対応により感染予防に努めてきたところですが、2月16日（火）、新たに他病棟において感染者1名が判明したことから、次のとおり対応を決定し、更なる感染予防対策を行います。

<今回の対応>

- ① 2月16日（火）午後から新規の予定入院を停止
- ② 救急、外来、検査等は通常のとおり実施。緊急治療が必要な場合は入院診療を行う。その他の入院は丹後、中丹医療圏の関係病院に受入を依頼。
- ③ リハビリテーションは外来のみ
- ④ 以上の対応を2月23日（火）まで実施

< 担 当 >

京都府立医科大学附属北部医療センター
事務部 あきずみ 麻角事務部長
0772-46-3371(代)



信 頼 さ れ る 全 人 的 医 療